



Q 町道八神千原線の改良は A 道路整備計画で

永井 章議員
町道八神千原線は、八神地内より美郷町へ通じる幹線ですが、一部未改良区間があります。この路線は幅員も狭く、車の交差が困難な所もあり、冬期間の除雪作業に支障をきたしています。早期の改良計画は、

山崎英樹町長
本年度、長期的な視点に立った道路整備計画の策定作業を進めています。改良整備は諸条件を考え合わせ、財源の確保を図りながら、今後の道路整備計画で必要な路線として検討します。

6月定例会 町政を問う 一般質問

Q 健康な町づくりを A 予防に重点



長島正一議員
高齢化が進み「安心して暮らせる町づくり」を目指すなか、国保の医療費や介護認定者の増加。また、病院会計の赤字も課題となっています。
病院を中核とし、保健・医療・福祉・介護の連携による「健康な町づくり」の方策や病院のあり方は、

山崎英樹町長
四〇才以上の九割が生活習慣病であり、今後基本検診受診率の向上、リハビリテーションの体制強化等予防に重点を置いた施策を推進します。

病院のあり方については、地域の総合保険医療センター的役割を担い、それぞれが連携する地域包括ケア体制づくりを進めます。

Q スキー場のあり方は A 拠点施設として検討

長島議員
運営方法に問題があり、スキー場のあり方が問われています。今後は、住民を巻き込んだ運営、グリーンシーズンの活用等に新たな方向性を求めるべきでは。また、「やまなみ」は、伊丹市の協力により、今では道の駅として「青空市ブナの里」等への相乗効果があり、琴引フォレストパークと分離して活用を図るべきでは。

山崎町長
スキー場は、町の地域振興、住民の福祉に寄与する施設であるべきと考えます。議会や住民の意見を聞き方向付け、運営に

努力します。また、「やまなみ」の運営につきましては、都市交流の拠点施設としての役割も考え、総合的ななかで検討します。

長島議員
金を出せば食料が買える時代が終わろうとするとき、農地・水・環境向上対策へ全地区

Q 研究会の目的は A 目的は売れる米づくり

が取り組まれました。一方、集落の会計一元化には課題もあり、一層の行政指導が必要です。町の「米づくり研究会」の方針・目的等の内容は、

山崎町長
農地水環境対策は、住民のみなさまのご理解により全地区での取り組みができました。稲作の経営安定対策への取り組みは、經理の一元化に厳しい状況となっており、JAと行政の窓口の一元化を検討しています。

「米づくり研究会」の目的は、売れる米づくりを進めることを考え、耕畜連携による循環型農業によるエコ米生産を進め、飯南町の方角を明らかにします。



Q 補助金の返還は A 今後の協議を踏まえ

櫻井秀憲議員
杜の風とんぼらは、五月の株主総会において八割の有償減資が決定されました。旧頓原町時代に商業集積事業として、千六〇〇万円の補助金が交

付されていますが、事業が中止された以上は町へ全額返還すべきでは。
山崎英樹町長
商業集積事業は断念されましたが、千六〇〇万円の補助金については、商工会の合併に伴いタウンマネージメント頓原へ譲渡されています。今後の町づくり事業に活用したい旨の申し入れを受けており、交付時の条件を踏まえ、協議し、判断します。



山崎町長
情報化を推進する検討会議において、防災無線やCATV回線を活用し通信手段を検討しました。ラジオ電波、携帯電話の難聴は情報化検討会議のなかで、難聴解消対策を研究してまいります。

Q 災害時の情報は A 難聴解消対策を

伊藤議員
ラジオは災害時の重要な情報源になりますが、ラジオ放送の受信は、非常に悪いです。難聴を解消するのが重要であり、その対策は、



商工会支援センター